“経営に知恵と革新”

令和３年１１月１日発行（隔月発行）Vol.761 号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2021年11月・12月号

第54回経営士全国研究会議

認定経営革新等支援機関

一般社団法人日本経営士会

70周年記念イベントのYouTube動画を公開中です

70周年記念行事実行委員会　委員長　大蔵 充夫

（一社）日本経営士会は、皆様ご存知の通り、令和3年9月25日にめでたく創立70周年を迎えました。本来は70周年記念式典を、産業能率大学様のホールをお借りして実施する予定でしたが、コロナ禍により中止となりました。式典で行う予定であった内容をYouTube動画にして、現在公開をしております。

動画へのアクセスは、以下のURLから直接閲覧してください。

https://nihonkeieishikai.com/70th_anniversary/

勿論日本経営士会ホームページからも閲覧が可能です。

【YouTube動画の内容】

(1)鈴木和男会長ご挨拶「70周年の創立記念日と日本経営士会（Great Change）構想」

(2)「Great Change 方針とその内容」 鈴木会長解説

(3)鈴木会長とグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン有馬利男代表理事による「トップ対談」

(4)産業能率大学 浦野哲夫学長のご講演

(5)平井卓也デジタル庁大臣（2021年9月25日時点）のご祝辞

(6)株式会社日刊工業新聞社井水治博社長のご祝辞

(7)コンサルタント座談会：テーマ「VUCAの時代におけるコンサルタントの在り方とは」

※本会以外のコンサルタントとして、産業能率大学総合研究所様、（株）クレアン様からご参加いただきました。

(8)経営士座談会（経営士と環境経営士）：テーマ「これからの経営士会70周年からの変革」

(9)（一社）日本経営士会女性経営士の会（NJK）の活動報告

(10)産業能率大学OBOGの経営士・准経営士へのインタビュー

＊上記の動画は70周年記念誌にも編集して掲載予定です。

当初は9月25日から2週間を動画の公開期間と考えておりましたが、更なる日本経営士会の認知度向上を図るため、当面の間（数か月程度）公開を延長することにいたしました。

会員の皆様におかれましては、皆様のクライアント様を含めて、関係ある企業や団体の皆様にも、是非「70周年記念のYouTube動画」閲覧をご案内していただければと存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。

以上

INDEX

第54回経営士全国研究会議 新潟大会 レポート ・・・・・・・・・2

佐渡島エキスカーションの記録 “米、魚、酒、とロマンを求めて!” ・・・・・・・・・8

第54回経営士全国研究会議最優秀賞論文 ・・・・・・・・10

事業部・委員会活動

CSR環境事業部

「環境経営士」フォローアップ研修Ⅰ（リコー見学ツアー） ・・・・・・・・19

「環境経営士」フォローアップ研修Ⅱ（セミナー：地球クライシスの話） ・・・・・・・・21

SDGs事業部官民連携プラットフォーム参画報告 ・・・・・・・・22

経営支援アドバイザー養成講座開催 ・・・・・・・・24

NJK女性経営士の会　委員会からのお知らせ ・・・・・・・・25

第55期経営士養成講座の募集について ・・・・・・・・26

MPP委員会からのお知らせ ・・・・・・・・28

AMCJ クロッシング　活動報告とスケジュール ・・・・・・・・29

支部活動報告

北海道支部 ・・・・・・・・30

千葉支部 ・・・・・・・・31

南関東支部　山梨経営支援センター ・・・・・・・・32

中部支部 ・・・・・・・・33

四国支部 ・・・・・・・・36

インフォメーション ・・・・・・・・37

マネジメントコンサルタント（Management Consultant）

発行所：一般社団法人日本経営士会

〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F

Tel：03-3239-0691　Fax：03-3239-1831

https://nihonkeieishikai.com

表紙：第54回経営士全国研究会議

第54回 経営士全国研究会議 新潟大会 レポート

2021年10月30日(土)・31日(日)の2日間に渡り、秋晴れの新潟市、新潟東映ホテルで、第54回経営士全国研究会議新潟大会が開催されました。

(新潟東映ホテル入口)

(開会式　主催者挨拶　鈴木会長)

(新潟空港歓迎サイン)

昨年の緊急事態宣言の発令を受け1年の延期、本年も第5波の影響で開催自体が危ぶまれましたが、参加会員の皆様のご理解、ご協力により、開催に至り、無事に終了できました。

感染拡大を懸念され、開催に反対の意見も多々ありました。北関東支部としましては、新潟県防災局危機対策課様にご相談、ご指導を受け、安心、安全な運営を目指しました。

全国からの参加ということで、大規模イベント(1,000人以上)と同様の対策を求められ、会場定員(300名)の1/2が上限とされました。また、交流懇親会は飲酒を伴うこともあり、自主規制で会場定員(300名)の1/3を上限として、参加数を100名に制限させていただきました。さらに飛沫防止パネルの設置、マスク会食等、参加者の皆様にもご協力いただきながらの実施となりました。

参加者　会員・関係者　90名／講演者・パネラー 12名／講演会参加者26名　合計　128名

包括テーマ

地域の活性化と戦略
～高齢化・人口減少における観光・産業・海外展開などの取組～

実施内容は下記の通りです。

開会式前に、2019年度(京都大会以降)と2020年度、2021年度(新潟大会まで)の物故会員に対する黙祷を行い、その後、ご来賓・講演者をお迎えし開会となりました。

ご　来　賓

新潟県知事　花角英世様(代理　新潟県産業労働部長　佐野哲郎様)　　新潟市長　中原八一様
新潟商工会議所会頭　福田勝之様　　新潟経済同友会代表幹事　吉田至夫様

開会式(朱鷺の間)

主管支部長挨拶　北関東支部長　桒山一宏
主催者挨拶　一般社団法人日本経営士会　会長　鈴木和男
ご来賓祝辞　新潟県知事　花角英世様(代理　新潟県産業労働部長　佐野哲郎様)
新潟市長　中原八一様
新潟商工会議所会頭　福田勝之様

（桒山北関東支部長）

（新潟県産業労働部長　佐野哲郎　様）

桒山支部長は、開催経緯や包括テーマの選定、充実した研究会議にしたい旨を訴え、京都大会での約束を実施することなどを話されました。

鈴木会長は、70周年を迎えた本会の新しい取り組み、グレートチェンジに対する考え、70周年に開催される本大会への思い、記念誌やSDGsの木製バッジなどのお話をされました。

ご来賓の皆様からは、新潟開催に対する謝辞、包括テーマにある高齢化、人口減少の課題解決、中小企業支援に対するお願いなどが述べられました。

尚、例年参加いただく、経済産業省地域経済産業局長様については、遠方、感染対策も踏まえ、メッサージをプログラムに掲載し、新潟経済同友会代表幹事の吉田様は、基調講演でご挨拶をいただくこととしました。

「第54回経営士全国研究会議」へのメッセージ

第54回経営士全国研究会議のご盛会を心よりお慶び申し上げます。

日本経営士会及び経営士の皆様が中小企業の経営支援に日々ご尽力されていることに、深く敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の影響により地域経済は厳しい状況にあります。関東経済産業局では困難に直面する地域の中小企業の皆様に寄り添いながら、着実かつ迅速に事業継続や再構築のための支援に取り組んでいるところです。

地域の中小企業の活性化には、経営士の皆様のお力添えが不可欠です。引き続き中小企業の経営支援へのご協力をお願い申し上げますとともに、皆様の更なる御活躍、御健勝を祈念いたします。

関東経済産業局長　濱野　幸一

（新潟市長　中原八一　様）

（新潟商工会議所　福田勝之　様）

基調講演　「3つの視点から」

基調講演は、包括テーマに沿うことが最重要であると考え、新潟大会では、コンサルタント、企業経営者、研究者の3つの視点からと題し、それぞれの視点から包括テーマに沿ったお話をいただきました。

また、参加者の皆様には、講演会の途中休憩で、コーヒーと(株)丸屋本店様からご協賛いただいた銘菓2種を召し上がっていただきました。

「ポスト・コロナの地域戦略化を考える」

コンサルタント　ブランディングアドバイザー　**信田　和宏　様**

プロフィール

1944年東京生まれ、幼少を島根県、広島県で過ごす。
早稲田大学卒、スタンフォード大学大学院ビジネススクール修了
1967年電通入社、営業部長を経て電通ヨーロッパ、アジアの社長（ドイツ、タイ、シンガポール駐在）、元電通理事、元東京経済大学客員教授、元事業創造大学院大学専任教授（現客員教授）、元総務省ふるさと再生委員。

これまで事例をもとにお話をいただきました。都市と地域（田舎）の課題、DXにより可能性が広がった地域の新局面に対する内容は、包括テーマの高齢化・人口減少の課題解決のヒントになったのではと思います。大枠の概要的な位置づけのお話で、オープニングに相応しい内容のご講演でした。

「おコメを輸出してみて～新潟クボタの取り組み～」

企業経営者　株式会社新潟クボタ　代表取締役社長　**吉田　至夫　様**

プロフィール

1952年生まれ。新潟市秋葉区出身。
早稲田大学政治経済学部卒業後、1976年に日本経済新聞社入社、1983年退職。
株式会社新潟クボタへ入社し、佐渡金井営業所所長、直販部部長、営業本部長などを経て
2002年に代表取締役社長に就任。
2013年3月より新潟日本香港協会会長、2016年4月より新潟経済同友会代表幹事。

「地方創生とは地方の中小企業が直接、海外と結びつくこと」との結論に至ったモンゴルへのお米、トラクターなどの輸出に至る経緯や苦労話、売上高など実数も含めご説明をいただきました。サッカーチームの「アルビ米」や古町芸妓さんの「柳都舞」などコラボしたお米のPRなど笑いもあふれるご講演でした。

「産地のイノベーションと活性化」

研　究　者　京都橘大学　経営学部　准教授　**丸山　一芳　様**

プロフィール

博士（知識科学、国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学）
新潟市生まれ　松下電器産業（株）、（株）リクルート リクルートワークス研究所
客員研究員、事業創造大学院大学准教授などを経て現職
経済産業省近畿経済産業局調査事業オープンファクトリー研究会委員（座長）
『地域産業のイノベーションと流通戦略』千倉書房（共著）著作・講演多数

「OPEN」をキーワードに、産地のイノベーションは、知恵×産地の文脈×創造的な場×デザイン×デジタルによるとの結論を説明され、新潟・名古屋・福井・京都・大阪の具体的な事例を紹介されました。会場を大いに盛り上げ、本日のトリとして、総論から核論に至るお話と、交流懇親会に繋げるご講演となりました。

交流懇親会（会場：白鳥の間）

（飛沫防止パネル）

（歓迎挨拶　磯部県会長）

（表彰式）

本交流懇親会は、感染防止対策のため「マスク会食」「3密の回避」「10人用の円卓に6名」「飛沫防止パネルの設置」「個皿による料理の提供」「ホテルスタッフによる飲み物の提供」等を実施しました。

各種表彰は、表彰者名の読上げ、代表者1名の登壇・授与とさせていただきました。プレゼンターに「にいがた観光親善大使」風間仁華さんをお招きして、鈴木会長にもお食事をしていただきました。

歓迎挨拶	開催地新潟の磯部県会長
乾杯発生	新潟商工会議所会頭　福田勝之様
表　　彰	全国研多数回出席表彰
	MPP高単位取得表彰
	会員表彰
アトラクション	古町芸妓衆・銘酒抽選会

（四季の新潟　春夏秋冬）

（出演の柳都新潟　古町芸妓衆）

地方（唄・三味線）	紅子・あやめ
立方（踊り）	和香・菊乃
	さつき・千笑・梨江
演目	四季の新潟　春夏秋冬
	新潟おけさ
	新潟小唄

お料理は、新潟東映ホテル料理長による新潟県産食材を使用した特別メニューで、乾杯酒は、北関東支部が地域限定醸造の大洋盛「紫雲」を準備、新潟米新ブランド「新之助」のおにぎりコーナー、新潟銘酒コーナーに11銘柄を揃え（〆張鶴「純」・大洋盛「無想」「紫雲」・麒麟山「伝辛」・越乃寒梅・金鶴越乃景虎・久保田「千寿」・八海山・鶴齢・雪中梅）さらに、プレゼント抽選会で各テーブル1名様に銘酒をお持ち帰りいただきました。締めは（株）新潟クボタの吉田社長様と実行委員会による3本締めで祝宴を終えました。

分科会〈白鳥の間・朱鷺の間（東）・朱鷺の間（西）〉

本大会の分科会は、募集論文の発表だけでなく、ゲストをお招きし3室全てテーマに沿った企画を実施しました。第1室は、優秀論文発表、第2室は、産業として長岡技術科学大学様のご協力により大学の取り組み、学生の発表、学生と教員と経営士のパネルディスカッション、第3室は、吉川真嗣様の町おこしのご講演と吉川様を含む4名のゲストによるパネルディスカッションを実施しました。

第1室　優秀論文発表　（発表は五十音順）

佐藤秀樹（千葉支部）

開発途上地域における農畜林水産物の6次産業化を通じた包摂的な地域づくりの試み
ーバングラデシュ・シュンドルボン（The Sundarbans）の事例からー

高橋栄一（南関東支）

インド進出の撤退と財務強化の取り組み
ー失敗から強固なマネジメントシステムが生まれたー

山本かおる（四国支部）

コロナに打ち勝つ！地域密着・労働集約型事業の圧倒的な業績向上
ーOODAループとPDCAサイクルの併用で絆を大切にした低コスト経営ー

第2室　産　　業　「持続可能な地域産業に向けたイノベーション」

長岡技術科学大学

実践的・創造的能力と奉仕の志を備えた指導的技術者を養成する国立大学。高専卒業者、留学生など多数受け入れ、5年一貫制博士課程や実務訓練、指導的技術者養成コースなど特長ある技術教育体系を実施。東アジア唯一のSDGs ゴール9（産業と技術革新の基盤をつくろう）の世界ハブ大学でもある。

第1部　発表　勝身麻美（UEA）　国際産学連携とSDG9
春川健太（修士2年）　道路舗装でのリサイクルの現状と課題
～環境にやさしいインフラ整備を継続させたい～
平田拓巳（修士2年）　あたらしい消雪パイプとSDGs

第2部　パネルディスカッション　「地域におけるSDG9促進のための経営の役割」
モデレータ　南口誠（教授）
パネラー　齊藤信雄（准教授）、春川健太（修士2年）、平田拓巳（修士2年）
福井　浩（南関東支部）、鈴木裕之（北関東支部）
粉川雅人（（株）マコー）

第3室　観　　光

吉川真嗣　千年鮭 きっかわ　代表取締役社長

1964年新潟県村上市生まれ　1988年早稲田大学商学部卒　商社勤務を経て、家業「千年鮭 きっかわ」入社、村上町屋商人会を結成し「町屋の人形さま巡り」など町屋を活かした町おこしを始める。2004年国交省より観光カリスマに認定、行政に頼らない「まちづくり」を評価され、内閣総理大臣賞をはじめ、各種表彰多数。

第1部　講演　「自ら動いて切り拓け！城下町村上まちづくりの挑戦」

第2部　パネルディスカッション　「観光地のポスト・コロナの集客戦略」
モデレータ　松橋裕子（北関東支部）
パネラー　吉川真嗣（講演者）
信田和宏（ブランデイングアドバイザー）
小塩稲之（日本観光文化協会　会長）
大倉善紀（新潟市シティホテル連絡協議会　会長）

（第1室　朱鷺の間（東））

（第2室　白鳥の間）

（第3室　朱鷺の間（西））

各室ともに内容の濃い発表、充実した討議が行われました。1室に偏ることがなく参加者が分かれていました。

閉会式

論文表彰　近藤専務より、論文応募状況などの説明と最優秀賞の発表、産業能率大学　経営学部教授　斉藤聡様より優秀論文の総評、本大会参加の入賞者5名が登壇し、鈴木会長より表彰状と賞金の授与を受けました。
最優秀論文に四国支部の山本かおる会員が選ばれました。

（表彰を受ける山本会員）

引継式　本大会主管北関東支部長より次回主管中国支部長に大会旗が引き継がれました。
次回主管　金廣利三中国支部長よりアンケートのお願いと次回開催の決意がのべられました。

昼　食　近年、提供がなかった昼食もホテル弁当ですが、用意して皆様に召し上がってお帰りいただきました。

お土産　参加者の皆様には、新潟県産の新米2合をお持ち帰りいただきました。

お土産ブース

講演会や懇親会などで、提供や話題になったお米とお酒とお菓子、講演者の書籍販売の4つのブースを設置させていただきました。たくさんの皆様にお買い求めいただきましたこと御礼申し上げます。

エキスカーション

エキスカーションも企画しましたが、希望者少数少のため、大型バスから観光タクシーに変更して、2コースのみ実施しました。

ここ数年エキスカーションが設定されていないため、エキスカーションが何たるかをご理解されていない方が多かったのではと思います。エキスカーションは単なる物見遊山ではなく、基調講演、分科会、交流懇親会で、紹介されたモノ、地域、会社、取組事例などなどを現地確認することが目的です。今回企画した4コース全てに、それが、組み込まれていました。その点を皆様にお伝えきれなかった点は、主管支部として大いに反省すべきと思っております。

（米・醸造文化コース（日帰り））

（佐渡満喫コース（一泊二日））

全てのプラグラムが滞りなく終了したことをご報告申しあげます。

（北関東支部　実行委員会）

佐渡島エキスカーションの記録
“米、魚、酒、とロマンを求めて！”

Wednesday, November 3, 2021：東京支部　森田喜芳（Nobuyoshi Morita）

10月30日（土曜日）の10時30分にホテルロビーに集合してきたのは4人でした。いよいよ待ちに待った、今日から第54回全国研のエキスカーションのAコース「佐渡満喫コース（相川温泉）」のスタートとなりました。

2年ぶりに開かれた今回の全国研「新潟大会」は昨日と本日で行われ、格調高い基調講演や交流懇親会に約90名が集い盛大に行われました。我々は本日朝からの分科会発表会を少々早めに抜け出して「新潟東映ホテル」を出発して佐渡航路ターミナルに向かいました。

ジェットフォイル（ボーイング社の開発した旅客用水上ジェット機＝最高速度80キロの時には船体が浮くとPRされている！）に乗り佐渡島の両津港に67分で到着しました。

この日は大変素晴らしい天候に恵まれて、ジェット飛行機並みのスピード感と波のない海面を飛ぶように水面を走り、ほとんど揺れずに自動車並みの速度であっという間に佐渡島に到着しました。

待っていた観光タクシー（大型の6人乗りの高級バン）に乗りランチは窯元「椿茶屋」にて豪華で地元地産の季節料理に舌鼓をうち、本日の我々 4人は以前からの顔見知りであったが、改めて名刺交換などをして和気あいあいとした雰囲気で乾杯と明日までの旅を楽しく過ごすようにお互いの近況報告なども交えたあっという間のランチでした。

ランチ後に今回旅のメインイベントの一つである「トキを見る！」に出かけた。「トキの森公園」に向かう途中に自然な姿のトキを田畑の続く農道まで運転手さんに案内していただき、本日は3ヶ所で3〜5羽ずつ集団で田んぼの中で餌をついたり翼を大きく広げて飛んでいく姿にシャッターチャンスを逃さずに撮り、薄いピンクの羽で過ぎ去っていく姿はなんとも言えず感動した時でした。（翌日も1度、合計4回田んぼで観察した！又4回も見られるのは我々は大変ラッキーだ！との事です。）その後に「トキの森公園」では森林の中にある紅葉の真っ只中に赤、黄、茶、緑、の中を森林浴をしながらトキを観察したり博物館でトキの歴史を勉強しました。観光タクシーの運転手さんの「後藤」さんはとても気さくで我々の質問に対してわかりやすくガイドしてくれて、乗車中は常に我々と後藤さんと会話をしながら土地の歴史、特産品、風俗習慣などを教えていただき、とても素晴らしい案内をしていただき、我々とコミュニケーション良く過ごさせていただきました。本日の宿は風光明媚なオーシャンビューな部屋でした。名物の「佐渡米や地場で上がるお魚の刺身に地酒」を満喫しました。

翌日は8:30にホテルをチェックアウト後、昨日と同じに後藤運転手の観光タクシーで2つ目のメインイベントである「史跡・佐渡金山」を見学しました。やはりユネスコ世界文化遺産（候補）の全景は緑に囲まれた中に突然に山が割れた姿を現し、金を求めて掘り進んだ歴史を様々と見せつけられました。現在は廃鉱となっているが、鉱山内部のツアーではかなり労働条件の良くない

中でよくここまで堀ったな？と思われ、小生は坑内でひんやりとした作業現場を見ると寒気と身震いがしてきました。又、このようにして金や金塊を生産して日本の国を豊かにしていったことも資料館などで勉強しました。

名物の「たらい船の里」は2名ずつ2組のたらいに乗り「小木湾内」を1周して浜風と涼しさを味わいました。漕ぎ手の若い女性との会話の中で「宿根木」という観光スポットを教えていただき、ツアーの正規コースではありませんでしたが、追加していただきその歴史的な街並みの散策をいたしました。かつての船大工や船主の家が狭い範囲に建ち並ぶ姿は当時を思い出すことができるスポットでした。その後に豪華なお刺身盛り合わせランチをいただいた後に「佐渡歴史伝承館」を見学しました。

佐渡名物の一つでもある地酒でエールフランス航空にも納入している酒蔵の「尾畑酒造」にて試飲をたっぷりといただき、良い気分になり少々睡魔に襲われました。フェリーの港に行く途中に「佐渡100選」にも紹介されている教会を見学しました。これは一緒に行った「矢島澄子」先生のリクエストで古くからある教会を見せていただき威厳のある建物と歴史を感じました。

帰路は往路と同じ両津港よりジェットフォイルにて定刻通り新潟港に到着しました。驚いたことに北関東支部長の「栗山（くわやま）一宏」先生が我々 4人を待っておりました。我々は、このようなホスピタリティに感動と感謝の気持ちでいっぱいでした。今回の北関東支部並びに新潟県会の会員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。その後我々はJR新潟駅より新幹線で三々五々帰路につきました。同行させていただきました「矢島隆志先生、矢島澄子先生、中村勝信先生、」には御礼申し上げます。とても素晴らしい仲間にめぐり逢えて素晴らしい2日間を過ごさせていただきました。小生の人生でも初めての素敵な仲間との旅を経験させていただきました。誠にありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。

今後は再来年の「第55回全国研」に小生は是非とも参加させて頂きたいと心待ちしております。このような素晴らしい全国研と旅行を楽しい仲間と2日間を過ごさせていただく機会を提供していただいた本部と支部の関係各位様に感謝と共に御礼申し上げます。

第54回全国研新潟大会エキスカーション
佐渡満喫コース「トキの森公園」にて（10月30日）

第54回経営士全国研究会議新潟大会
最優秀賞論文

コロナに打ち勝つ！地域密着・労働集約型事業の圧倒的な業績向上
～ OODA ループと PDCA サイクルの併用で絆を大切にした低コスト経営～

山本 かおる （会員番号 5326）
四国支部　香川県会

（論文要旨）

少子高齢化が進む中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、地域の企業は厳しい局面をむかえている。特に、筆者が専門とする労働集約型の事業は、テレワークやECサイトの利活用を始めとする柔軟な対応が難しく、最も深刻な状況にあると言える。今回は、このように厳しい状況の中、筆者が試行錯誤しながら、新たなトライアルとして取り組んだ、重要かつ具体的なものを紹介する。そのベースとなる方法論は、従来のPDCAサイクルに加えて、近年注目されているOODAループをバランスよく併用するものである。この方法論は、悪化していた現場のコミュニケーションを円滑にし、売上が昨年対比175%（詳細は後述）など、低コストで経営の大幅な改善を実現した。事例は1社に絞っているが、筆者の支援する同様のビジネスモデルの企業でも複数の実績があるため、再現性があると考えられる。

しかしながら、企業によって、OODAループとPDCAサイクルの最適な活用方法は多岐に渡り、実行支援も重要であるため、今後、経営士の役割が、ますます重要になってくると考えている。

1. 緒言

高齢化、人口減少の中、新型コロナウイルス感染症などにより、事業環境が激変し、今までと同じような経営戦略では立ち行かなくなっている事業が増えているのは自明の理である。特に、筆者が支援している、医療、福祉、小売り、サービス業などの、地域密着・労働集約型のビジネスモデルの事業は、テレワークやECサイトの導入など、環境の変化に柔軟に対応することが難しい状況にある。そんな中、2020年9月、放課後等デイサービス事業所のコンサルティングを受託した。（放課後等デイサービスとは、H24年4月に児童福祉法に位置づけられた障がいのある子どものための新たな福祉サービスである。）

今回の事例は、コロナ禍で、さまざまな条件が目まぐるしく変化する環境にある上、経営状況が深刻になってから相談されたため、十分な時間を費やし問題解決するPDCAサイクルの適応が難しく、このままでは、年末には倒産は免れない状況であった。そこで、効率的な問題解決手法として、筆者が考案したOODAループとPDCAサイクルを併用する新たなトライアルをした。その後、悩み抜いたあげく、2020年12月からは、筆者自らが共同経営者として本事例に深く関わることとなった。以下にその具体的な事例を紹介する。

2. 本事例研究に用いた方法論

今回は、OODAループを戦略策定、問題解決、実行支援の根幹で適用し、補助的にPDCAサイクルを用いる事で、素早い意思決定と実行、コミュニケーションの向上を目指した。

OODAループは①「観察」②「状況判断」③「意思決定」④「行動」の流れの問題解決方法である。この手法は、計画に模索する時間が大幅に短縮され、観察から始めるため、現場の職員との連携による適正な分析と意思決定が迅速にできること、現場の行動の修正もスムーズであることに大きなメリットがある。（図1）一方PDCAサイクルは、①「計画」②「実行」③「評価」④「改善」のサイクルを回すもので、長期視点、かつ継続的に業務効率を図るのに適している。（図2）

図1

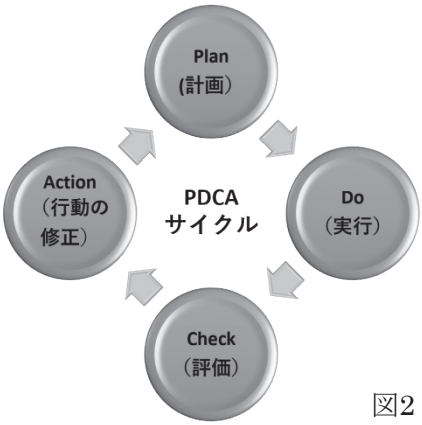
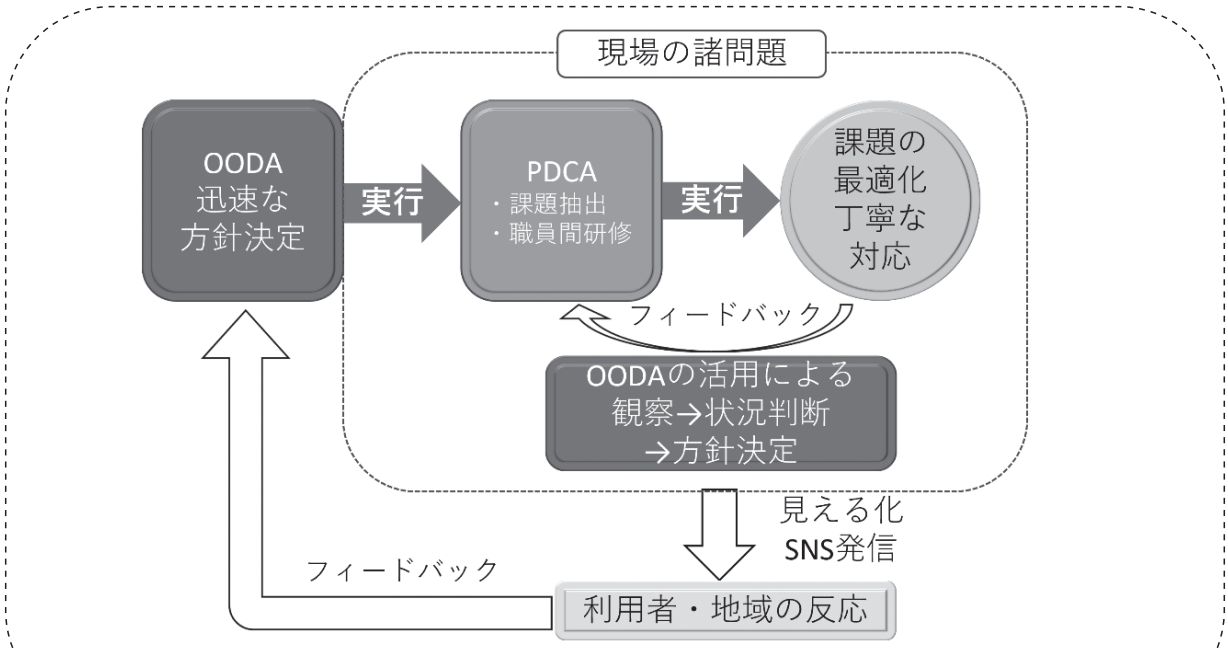


図2

この2つのフレームワークは、どちらかを1つを選択し活用されている場合が多いが、今回は、現場の問題解決と仕組み化が急務と考え、2つの手法を組み合わせた。

下記は、筆者が考えた、本事例研究の概念図である。



本事例研究の問題解決の概念図　図３

また、筆者が介入を強めた目的は迅速な意思決定と実行支援の強化である。

筆者が加わることで、大きな資金援助や、大幅なビジネスモデルの変更はしていないが、経営の改善がみられたことを特記しておきたい。

以下に、OODAループのステップを参照しながら具体的な活動を紹介する。

3. OODA第一及び第二ステップ：当放課後等デイサービスの現状分析及び状況判断結果

まずは、当放課後デイサービス事業（以下、当事業とする）の下記のような観察及び調査を行い、それぞれ区分けして現状分析と状況判断のための考察をした。

現状分析では一般的な環境条件のデータを収集しそれを元に本事例の特徴を明確化した。

(1)児童福祉系サービスの経営状況の現状(全国の傾向)

独立行政法人福祉医療機構の「2018年度の貸付先対象の調査」によれば、赤字施設割合は14.2ポイント上昇し、44.9%の施設が赤字になったとある。黒字施設と赤字施設の比較では、赤字施設は黒字施設より利用率が低く従事者1人当たりの人件費が高い傾向にあった。(参照1) 当事業でも、同様の傾向がみられたため、いかにして利用率を上げ、人件費率を抑えることができるかが、業績向上のポイントになると考えた。

(2)サービス業における人材不足

日本政策金融公庫の「小企業の雇用に関する調査」によれば、従業員過不足IDは全ての業界で低下したものの、「人手が足りず、需要の増加に対応できていない」と回答した企業割合が41.5%と最も高く、人手不足は経営に大きく影響している。(参照2)

さらに、厚労省「労働経済動向調査」から、四国・中国地区の人材は、全国平均に比べて不足気味であると推測されるため、求人は引き続き困難であると考えた。(参照3)

(3)新型コロナウイルスによる影響

当事業所は、2020年4月開業であったが、開所まもなく、緊急事態宣言が発令された。

当事業所および同商圏他事業所の職員、相談支援員および利用者のインタビューによる状況調査では、2020年5月以降は、下記の3つの傾向がみられた。(当事業では、利用者が複数事業所でサービスを受けるため、他事業所とも協力し合う慣習があるので、インタビューは円滑に行われた。)

①新規利用者の獲得が困難(お問い合わせや、事業所体験の申し込みが激減)

②感染を心配した利用者の自主的な利用控えによる利用率の低下

③売り上げの二極化…一時的な定員基準の緩和の影響で、人気事業所に利用者が集中。

人気事業所の中には、過去最大の売り上げの事業所もあった。実際に、当事業所の利用を控え人気事業所を利用するという利用者も存在した。

これらの状況から、利用者が減少している理由は、新型コロナウイルスによる影響だけでなく当事業の魅力を利用者に伝えきれていないのではないかということが推察された。

(4)職員の意識調査

面談により行った職員の意識調査では、下記の3つの傾向がみられた。

①経営理念や事業計画を共有していない。

②人材育成のための制度がない。…仕事を通して成長したいと考える専門知識のある職員は相次いで離職し、採用も困難になっていた。

③コミュニケーションが悪い。…職員の自由な活動を「良し」としたことが裏目に出て、各職員の主張がぶつかり、人間関係が悪くなっていた。利用者への対応もバラバラだったため、利用者からのクレームも増加していた。互いに人のせいにする傾向も強かった。

以上のことから、職員のエンゲージメント(会社に対する愛着心や思い入れ)の著しい低下がみられ、向上させるための仕組がないことがわかった。この調査結果から、関わる人たちの信頼関係の回復と、エンゲージメントの向上が急務で重要であると考えた。

(5)本事例の事業所の物件調査

建物の設備、近隣の環境、近所の方の理解は良好で、同様の条件を備えている事業所は近隣にはなく、この環境を充分に生かすことができれば、当事業の強みになると考えた。

4. OODA第三ステップ：戦略の決定

現状分析をもとに、業績向上のための戦略を立てた。主な戦略は下記のとおりである。

①経営者の覚悟と職員の理解
②企業理念・事業コンセプトの明確化と共有
③離職防止と採用の工夫
④療育の質の向上
⑤集客の仕組み化
⑥地域との絆づくり

捕捉：戦略の実行順序は、①②が最優先、③④⑤については、ほぼ同時並行で実行開始、少し余裕がでてきてから⑥についても実行するとした。

戦略を決定する上で心がけたのは、「心理的安全性の確保」である。これは、Google社が2012年から行ったプロジェクトで発表された「業績の良い企業の唯一の共通点は心理的安全性が確保されていることである。」という概念に基づく。(参照4)

限られた予算での当事業の成功は、職員、利用者、地域などの絆づくりが鍵になると考え、心理的安全性の確保のために、行動規範を作った。主なものをここに示す。

①会話には、コーチングスキルを用いる(聴く・承認する・質問するなど)。
②小さな成功体験を積み重ね認め合う。…職員に指示する時は、わかりやすく、スモールステップで伝え、早い時期から成功体験ができるようにし、成果を認める。
③管理者は、時々の感情や状況で左右されない一貫性のある指示をするよう心掛ける。
④職員間のPDCAサイクルが円滑に回るようにコミュニケーションの改善・工夫をする。

5. OODA第四ステップ：戦略の実行支援（期間2020年9月から2021年8月の1年）

上記の戦略の実行支援について、主要な事例を以下に示す。

(1)経営者の覚悟と職員の理解

まずは、経営者と話し合いを重ね、現状に向き合い、今後の様々な変化を受け入れる覚悟をしていただいた。当時、業績不振の要因は新型コロナウイルス感染症から起こる外部環境によるものと片付けられることが多かった。そんな中、不振の原因が経営者自身にあり、当事業所の経営努力の不足であると認めるのは、とても辛い事だと筆者は考える。

しかし、経営者の覚悟なくしては、支援はできない。筆者もコンサル契約が打ち切られるリスクも覚悟し、率直に話し合った。時には、激しい議論もあった。それでも、筆者を信頼し、素直にアドバイスを受け入れてくださった経営者を、筆者は尊敬している。

その後、速やかに職員との会議を開き、今後の方向性を伝えた。離職希望者を省く参加者6人中、概ね理解を示してくれた人は1名、難色を示した人が4名、判断できないと答えた人が1名と、厳しい船出となった。

(2)企業理念・事業コンセプトの明確化と共有

次に企業理念とビジョンを明確化し、OODAループでの観察や、3C分析などをもとに、事業

コンセプトを見直した。コンセプト決定のポイントは下記の5つである。
①事業所の特徴でなく、利用者の価値(ベネフィット)に基づいた表現であること。
②利用者や相談支援員、学校などに、伝わりやすいものであること。
③子ども達にとって遊びが脳を発達させるというエビデンスに基づいたものであること。
④職員の個別スキルに頼らず、チームで支援できるコンセプトであること。
⑤事業所の環境の利点が充分に生かせるものであること。

これらをもとに、コンセプトを「各専門家の個別支援」から、「遊びは学び」に変更し、チラシ、ホームページをリニューアルして、テストマーケティングを行った。テストの結果が良好だったため、当面はこのコンセプトで当事業を再構築することとした。

ここでの課題も職員の反感や無関心だった。共感をうながすために、図や漫画、動画などを使ったり、テストの客観的な指標を示したりするなど工夫をして、何度も共有した。

このプロセスの中で、経営者に対する不信感が払しょくできない、これからの改革案に共感できない、個人的な体調不良などの理由で、さらに職員の半数が自主退職した。

当事業は、一定の資格を持った職員が確保できないと、減算、閉所の対象になるため、有資格者の職員の確保は必須である。そんな中での半数の離職は大きな痛手であるが、職員のエンゲージメント向上のチャンスと考え、上記の対策を続けた。

(3)離職防止と採用の工夫

離職を防止し、採用が少しでも容易になるように行った活動の主なものを示す。
①今後の方向性を示す会議の実施…行動計画も具体的に示しすぐ実行できるようにした。
②信頼関係の構築…個別面談を重ね、各職員の理解につとめた。
③他事業所の職員との交流…コロナ感染防止に努めながら、他事業所職員との情報交換の場を設け、当事業のやりがいや楽しさを伝えていただいた。
④ハローワークの募集要項の改善…現状分析をもとに、募集要項を改善した。特に、理念を明確に示し、当事業所で成長するイメージが持てるように表現した。
⑤SNSによるイメージアップ…インスタグラムを開設し、バイトの大学生に、当事業所で働く楽しさを、発信してもらった。
⑥雇用条件の改善…処遇改善加算が取得できるよう制度を整え、今までよりも多く人件費に資金を充当できるようにした(売上の10%程度)。生産性を上げることで職員の増加に比べ人件費に充てる予算が多くなった結果、1人あたりの給与を上げる事ができた。
⑦社内の役割とルールの明確化とその遵守の徹底…今まで成文化されていなかった、社員の役割やルールについてリスト化し、優先順位をつけて成文化した。さらに、問題が起こる都度、関連ルールを成文化した。同時にさまざまな方法で繰り返し伝える工夫をした。

(4)療育の質の向上

教育が重要と考え、業務時間内の定期勉強会を実施し、その他にも随時トレーニングができるよう仕組化した。具体事例は下記のとおり。
①月に2回(1回2時間半・8月のみ休み)の、職員定期勉強会を実施。
②朝礼で療育に関する悩みや具体的対策を共有。(クラウドシステムの利用で休みの職員にも情報を共有可能にした。)

③週に1回以上の職員だけのミィーティングで勉強会、朝礼で話し合えなかったところの補強。
④入社時および随時、動画教材(自社で作成)による学習環境の強化。
⑤自己啓発として希望する職員に、研修受講料の全額、または一部補助。
⑥関連書の購入。(予算を設定し、本の選定は自由とした。)

職員向け定期勉強会の風景

⑦研修や勉強会に参加意欲のない職員の個別コーチングの実施。

(5)集客の仕組み化

①ホームページやSNSによる、WEB集客の充実
利用者増加の一助として、新しいホームページを作成し、SNS活用を仕組化した。当面は手作りで、低コストで簡単にテスト・改善ができるようにした。

手作りホームページ

②利用者や利用見込みの方向けの定期的勉強会の実施
各リサーチにより、発達障がいのお子さんに関する情報が少なく、保護者が困っているという事がわかり、定期勉強会で情報発信することにした。
当勉強会は、利用者だけにとどまらず、外部の方も資料代負担(500円)で参加可能とし、高松市の運営基準に則った上で、地域に貢献することも目指した。

利用者向け勉強会の風景

(6)地域との絆作り

当事業の大きな役割の1つに、地域の絆づくりの拠点になることがあると位置づけ、その土台作りを行った。主な事例をここに示す。
①在宅ワーカーの雇用…ホームページの更新など在宅でできる雇用を創出した。
②就労移行支援者との連携…就労移行支援者と連携をとり、障がい者の職場体験を受け入れた。
③行政とのつながり…各議員との意見交換や、事業所体験(ボランティア)などを通して、事業所を理解していただく機会を設けた。

平井デジタル改革担当大臣と対談

辻高松市会議員と対談

④学生の社会経験を深めるための支援

…大学生バイトからの、地元企業の社長と学生をつなげたいというアイディアに賛同し、学生主導のイベント開催の支援をした。

⑤学生の受け入れ…香川大学の学生の研究目的のボランティアや香川県立三木高校の職場体験などの受け入れも行った。

学生と子どもの交流風景

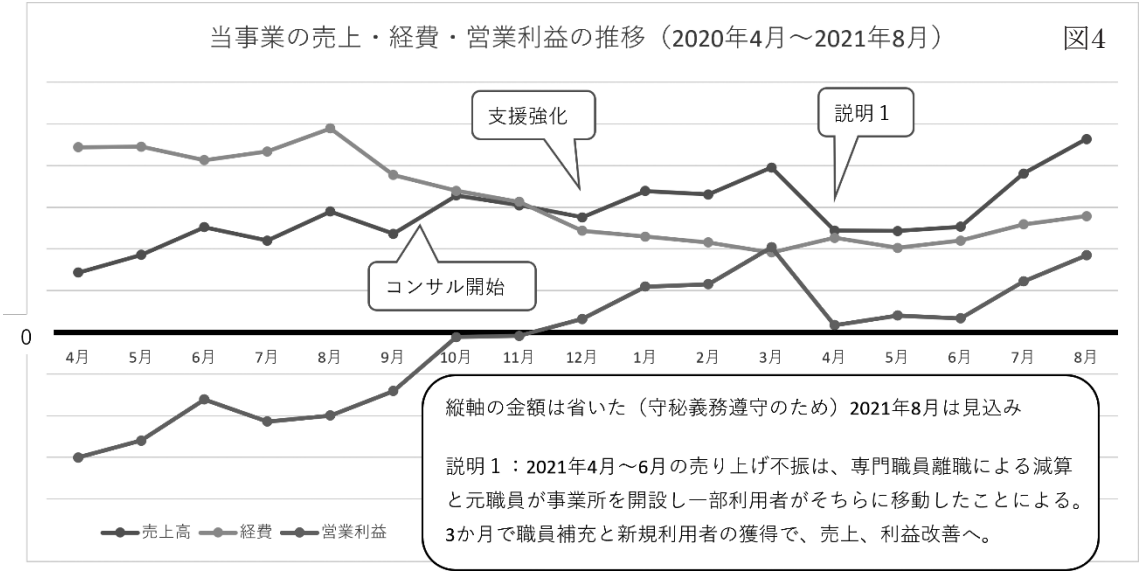
イベントチラシ

6. 本取り組みの経営面での実績と改善結果

(1)売上・経費・利益について

売上向上、経費削減により、赤字から黒字へ転換し、大幅な利益向上となった。

（売上事例：2021年7月は昨年対比175％に。）支援の途中で、競合他社の影響があり、売上・利益ともに一時的に減少したが、2021年7月以降は、職員が定着し、集客の仕組みもできたので、将来の激変する事業環境の中でも本事業の安定的成長が期待される。



(2)雇用について

・採用コストゼロで職員を確保。定着率向上。（現在100％）

・職員の平均給の向上…正職員：年収30万～ 150万向上見込み。（役職による）

パート社員の時給80円以上アップ（ともに、処遇改善適用含む）

・障がい者雇用の実現（トライアル雇用・アルバイトの2名）

(3)その他（職員のインタビューをもとに）

・人間関係がとても良くなった。

・毎日楽しく、やりがいをもって働けるようになった。

・利用者が他の利用者を紹介してくれるようになった。信頼の証と喜んでいる。

・行政や教育機関、地域の方々と、意見交換ができるようになった。

・地元の大学生や高校生の体験の受け入れをして喜んでもらえた。

・マスメディアの取材があった。（四国新聞でスタッフ紹介。利用者のラジオ出演等）
・ここにいると、自分が成長できると感じられるようになった。
・連絡帳などで保護者から、感謝のコメントをたくさんいただくようになった。
・事業所の方針に賛同してくれる人が増えて、ストレスが激減した。

7. 考察　～地域密着型・労働集約型事業の成功のポイント～

一連の支援から、地域密着型・労働集約型企業の、強みを活かしながら生き残るためのポイントを考察する。これは、筆者の支援するカフェや歯科医院などの成功事例にも共通するものである。さらに、同業種の2017年12月から2018年6月の取り組みでも、半年で約174.4％の売上向上に貢献した実績もあるので、再現性があると考えている。

(1)経営者の覚悟と、迅速な意思決定

社長の大切な仕事の1つは決断である。大企業に比べ、中小企業の場合は、決断、実行、その後の改善にも、小回りが利くので時代の変化に柔軟に対応できる。

もちろん、古い体質から抜け出せない企業も多いが、経営者が覚悟を決める事で、新時代に即した対応は充分に可能である。経営者の覚悟と迅速な意思決定が求められる。

(2)コストをかけずにできる効果的な打ち手を考え、こまめに挑戦

多額の広告宣伝費や設備投資をすることは、効果的な打ち手にはなるが、「2021年版　中小企業白書・小規模企業白書（参照5）」によれば、大企業に比べ損益分岐点比率が高いため、売上高の急激な変化には弱いとされている。そのため、コストをかけずにできる効果的な打ち手に知恵を絞り、こまめに挑戦することが成功の鍵となる。

(3)ITやインターネットの利活用

近年、SNSや社内連絡ツールなど、無料や安価で利用できるITシステムが続出している。一昔前には資金力のある大手企業しかできなかった事が中小企業でも可能になった。こまめな挑戦や生産性向上のためにも、積極的にITの利活用を進めるべきである。

本事例でも、①福祉事業や経理に特化したクラウドシステムによる残業の削減②ワードプレスによるHPの構築とブログでの発信③Facebookによる集客④クラウドでの社内コミュニケーション⑤動画教材の作成による教育体制の整備⑥インスタグラムによる採用活動など、さまざまな場面で活用しその効果が検証されている。

(4)社員の心理的安全性の確保とエンゲージメント向上のためのきめ細かい対応

労働集約型のビジネスモデルにおいて、社員のやる気や技術の向上は売上や利益に直結する。ギャラップ社の「世界の従業員意識調査：2021ワールドレポート（参照6）」においても、職場に期待する事は、「給与→目的（何のために働くのか）」「満足したい→成長したい」などと、大きく変化があると報告されている。中小企業ならではの、社員へのきめ細かい対応で、新時代の社員のエンゲージメント向上を目指すことが重要である。

(5)地域との絆づくり

地域密着型の中小企業ならではの、地域との深い絆づくりも大きな強みと言える。筆者の支援

する飲食店や福祉事業所では、コロナ禍において、「〇〇を潰すわけにはいかない」という地元のファンの利用が増え、前年よりも利益があがったという報告もある。地域や顧客との深い絆づくりが企業の安定的成長を支える。

8. 結論

今回の事例研究で、厳しい事業環境の中、ビジネスモデルを柔軟に変更することが困難な地域密着型・労働集約型の中小企業でも、低コストで経営を大幅に改善できることがわかった。まずは、外部環境に頼りすぎず、自社ならではの強みを発掘し、事業コンセプトを明確にすることである。さらに、素早い意思決定と行動、改善が肝要である。また、地域密着型の中小企業ならではの、社員や顧客、地域との絆づくりが成功の鍵となる。

そして、その一連の活動のために、OODAループとPDCAサイクルを併用したフレームワークの利活用が効果的である。しかしながら、そのバランスは、状況によって様々であり、専門家の支援なくしては、実行することも困難な事が多い。

さらに、中、長期的には、ビジネスモデルの大きな変更や、M&Aなどの事業承継も視野に入れなければならない。我々経営士の活躍が、ますます期待されると言える。

謝辞

今回の研究論文の執筆に関して、(社)AKARI代表久保田健二様、(株)フォアライズ丸山直城様、(株)かのんの社員、放課後等デイサービス、相談支援員、教育関係者、利用者の皆様に協力をいただいた。また国立研究開発法人水産大学校水産流通経営学科山本義久教授には本論文の取りまとめへの多大なるアドバイスをいただいた。また、経営士会四国支部の皆様には、日々の感謝と多大なご尽力を頂きました事を深く感謝申し上げます。

参考文献および参照資料

図表1　2　3　4…筆者が作成

参照1. 独立行政法人福祉医療機構　2018年度　児童系障害福祉サービスの経営状況について
https://www.wam.go.jp/hp/wp-content/uploads/200319_No017.pdf　2021年8月15日最終アクセス

参照2. 日本政策金融公庫総合研究所　2020年11月25日付ニュースリリース
https://www.jfc.go.jp/n/news/2020/　2021年8月1日最終アクセス

参照3. 厚生労働省労働経済動向調査
https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/43-1.html　2021年8月24日最終アクセス

参照4.「心理的安全性のつくりかた」石井遼介日本能率協会マネジメントセンター(2020年)

参照5. 2021年版　中小企業白書・小規模企業白書
https://www.meti.go.jp/press/2021/04/20210423001/20210423001.html　2021年8月25日最終アクセス

参照6. 世界の従業員意識調査：2021ワールドレポート　ギャラップ社
https://www.gallup.com/jp/　2021年6月23日最終アクセス

AMCJ は、持続可能な開発目標
(SDGs)を支援します。

株式会社リコー見学ツアー

2021 年度 環境経営士フォローアップ研修

全国的にも環境・SDGsの推進を先進的に行っている、株式会社リコー環境事業開発センター様(静岡県御殿場市駒門)のご協力により、(一社)日本経営士会向けに見学ツアーを開催いたします。

「これからSDGsを推進したいが、何から始めたらいいか分からない」という会員の声も多いため、トップランナー企業の見学ツアーを機に、見て、学び、今後の取り組みのきっかけにしていただきたいと存じます。

参加を希望される会員は、参加申込書にて2022年1月14日(金)までにお申込み下さい。

なお、「環境経営士」以外の方も参加いただけます。

日　時

(1) 2022年1月25日(火)
(2) 2022年1月26日(水)
(3) 2022年1月27日(木)
(4) 2022年1月28日(金)

いずれも13：30 ～ 16：30、各日8名
(受付13：20 ～)
定員になり次第、締切りさせていただきます。

※新型コロナウイルス感染症対策として、各日8名に制限しております。
希望日によっては1日の制限人数を超えてしまう場合があるため、参加可能な日を複数記載していただければ幸いです。応募が多数だった場合、抽選とさせていただきます。

場　所

株式会社リコー　環境事業開発センター
〒142-0038　静岡県御殿場市駒門1-10(駒門工業団地内)
※アクセスについては、別紙参照下さい。
https://jp.ricoh.com/environment/eco_business_center

参加費

2,000円　を指定口座へお振込み下さい。
みずほ銀行　麹町支店　　普通　**1614618**　　一般社団法人　日本経営士会
※フォローアップ研修後の修了証発行・送付料など

内　容(予定)

(1) リコー環境事業開発センター紹介(プレゼンテーション)
(2) シアター Rにてリコーが何故環境事業を取り組もうとしたのかを映像でご紹介
(3) エントランスにて環境保全活動のご紹介
(4) リユース・リサイクルセンターにてリコーの資源循環の思想をわかりやすく展示し、リユース・リサイクル技術のご紹介
(5) 環境・エネルギー事業エリアにて実証実験しているテーマのご紹介

(6) 環境・未来技術エリアにて実証実験しているテーマのご紹介
(7) RE100・環境ソリューションエリアにてRE100達成シナリオと照明空調制御システム、その他環境商材のご紹介とデモ
(8) 木質バイオマスエネルギープラントにて環境棟の空調と給湯の一部をまかなっている木質バイオマスボイラーの熱利用のご紹介
(9) クローズミーテイング（質疑応答など）

集合解散

(1) 現地集合、現地解散となります。
(2) 自家用車でお越しいただき、受付で指定された駐車場をご利用ください。

その他

(1) 海外から帰国(入国)後、14日を超えていない方はご見学いただけません。
(2) 見学日当日の出発前に体温を計測し、発熱・軽度であっても咳・咽頭痛・倦怠感などの症状（体調不良）がある場合は来場をお控え下さい。
(3) マスク着用でのご来場・ご見学いただくよう、ご協力をお願いいたします。
(4) 手洗いへのご協力および手指消毒薬のご利用をお願いいたします。
(5) お客様同士の間隔を十分に確保いただくようお願いいたします。
(6) 感染防止対策により、お客様へのドリンクサービスは紙コップを使用しています。
(7) 参加者へ後日送付する「環境事業開発センター見学に関する同意書」に記入の上、見学当日ご持参下さい。
(8) 今後の感染症拡大の状況によっては、急遽中止となることも考えられますのでご容赦下さい。

■申込先：一般社団法人日本経営士会　本部・事務局　宛

株式会社リコー見学ツアー参加申込書

office@nihonkeieishikai.com　　03-3239-1831

202　年　月　日

会員情報	□参加費振込済　□参加費振込予定(202　年　月　日)	
氏　名		会員番号:
称　号	環境経営士　経営士　経営士補　准経営士補	
連絡先	Tel：	Fax：
	E-mail：	

希望順位		
（丸数字を記入して下さい。） 見学実施日 ①1月25日（火） ②1月26日（水） ③1月27日（木） ④1月28日（金）	第１希望日　（　　）	
	第２希望日　（　　）	
	第３希望日　（　　）	

※いずれも時間は、１３：３０～１６：３０

希望される会員様は、参加申込書を2022年1月14日(金)までにFAXもしくはEメールにてご返送をお願いいたします。なお、確定した日時や当日の詳細などについて直接ご連絡させていただきます。

事業部・委員会活動

環境経営士フォローアップ研修Ⅱ

CSR環境事業部

CSR環境事業部　福井　浩

講演：地球クライシスの話

国立環境研究所　江守 正多氏のご講演　12月9日（木）15時50分～17時

趣旨：環境経営士フォローアップ研修と日本経営士会の知名度アップのため

環境経営士フォローアップセミナーを開催します。今回は座学ですが「地球温暖化はどこまで進んだか」をテーマで国立環境研究所の江守　正多氏を招聘してご講演をお願いしました。NHK等のテレビでよく出演される方ですので、日本経営士会の知名度アップにもなるのではと期待しています。

講演のテーマは「地球温暖化はどこまで進んだか」

江守様はプロフィールでも載せましたがIPCCの評価報告書の主執筆者です。
令和3年10月31日（日）～ 11月12日（金）に英国・グラスゴーでの開催が予定されてる、国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）においての最新の情報を江守正多講師より聞けると期待をしています。地球温暖化は最近、「地球クライシス」という言葉に置き換えられつつあります。

江守 正多氏のプロフィール

1970年神奈川県生まれ。

東京大学教養学部卒業。同大学院総合文化研究科博士課程修了。博士

1997年より国立環境研究所に勤務。

地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室長等を経て、2021年より地球システム領域副領域長。連携推進部社会対話・協働推進室長を兼務。2021年より東京大学総合文化研究科広域科学専攻客員教授。専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。**気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次、第6次評価報告書主執筆者**

お申し込は：

お名前と経営士、環境経営士、経営士補、准経営士かを記入の上hfukui@kuf.biglobe.ne.jpまでメールをお願いします。追ってZoomのURLを送付します。

環境経営士の方は受講され、アンケート（追ってZoomのURLを送付の折添付します）を返送され、受講料納付済みの方にはフォローアップ修了証を送付します。

受講料は1000円です。振込先：三井住友銀行麹町支店普通預金No.7166277

定員：100名　定員になり次第締め切らせていただきます。

詳細は「環境経営士」又はhttps://www.compact-eco.comで検索をお願いいたします。

IPCC：気候変動に関する政府間パネル（IPCC：Intergovernmental Panel on Climate Change）は、IPCCの目的は、各国政府の気候変動に関する政策に科学的な基礎を与えることです。世界中の科学者の協力の下、科学誌に掲載された論文等に基づいて定期的に報告書を作成し、気候変動に関する最新の科学的知見の評価を提供しています。今回のCOP26の資料となります。

事業部・委員会活動

SDGs事業部・委員会報告

SDGs事業部・委員会

日本経営士会SDGs事業部・委員会は、内閣府プラットフォーム運営事務局主催の2021年度総会および関連イベントにZoomウェビナーとして参画いたしましたので、以下の通り報告いたします。

地方創生SDGs 官民連携プラットフォーム

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

■**開催日時：2021年9月7日**（火曜日）
9:30am ～ 12:00am

2021年度 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム・総会（オンライン開催）

◇参　画：一般社団法人日本経営士会 SDGs事業部･委員会
◇主　催：内閣府地方推進室、運営事務局
◇分科会：地方創生SDGs 官民連携プラットフォーム2021年度全分科会実施計画書（概要）
①2021年度の継続分科会　34 件（当会より2テーマ登録済／継#19 & 継#28）
②2021年度の新規分科会　16 件
◇2021年度会員登録数：1号会員（984）、2号会員（13）、3号会員（4,842）は、**5,839**団体（2021/08/31時点）

【タイムスケジュール】

プログラム		内　容
09：25～	参加者参集	開催形式 Zoomウェビナーによる配信 時間になりましたら、メールで配信されたURLよりご参加下さい。 ※5分前から入室が可能となります。
09：30～	開会の挨拶	はじめに ◊大臣挨拶　内閣府地方創生担当大臣：坂本哲史　様 ◊会長挨拶　地方創生SDGs官民連携プラットフォーム会長：北橋健治　様 ◊議　　事　内閣府地方創生推進事務局参事官：北廣雅之　様 ①役員選出 ②前年度活動報告、今年度活動方針（案）
10：15～	基調講演	～官民連携による地方創生SDGsの推進～ 地方創生SDGsの進展、官民連携プラットフォームの推進 ◊一般財団法人建築環境・省エネルギー機構理事長　村上周三　様
10：30～	パネルディスカッション パネリスト ファシリテーター	～官民連携プロジェクト創出の重要性～ ◊地方創生SDGs官民連携プラットフォーム会長･北九州市長　北橋健治　様 ◊一般社団法人日本経済団体連合会 常務理事・SDGs本部長　長谷川知子　様 ◊一般財団法人建築環境・省エネルギー機構理事長　村上周三　様 ◊慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授　蟹江憲史　様 ◊株式会社クレアン 代表取締役　薗田綾子　様 ◊株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役　関　幸子　様 ◊内閣府地方創生推進事務局参事官　北廣雅之　様
11：35～	連絡協議会発足式 閉会の挨拶	全国SDGsプラットフォーム連絡協議会　役員（会長、副会長） ◊地方創生SDGs官民連携プラットフォーム会長･北九州市長　北橋健治　様 ◊関西SDGsプラットフォーム運営委員長･公益社団法人関西経済連合会理事　井上剛志　様 ◊九州SDGs経営推進フォーラム会長・九州大学大学院芸術工学研究院教授　井上滋樹　様 ※今後の活動など

以上

■**開催日時：2021年9月7日**（火曜日）
1:00pm ～ 4:30pm

日本経営士会は、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

マッチングイベント（オンライン開催）

◇マッチングイベントテーマ
「中小企業・サプライチェーンにおいてSDGs・CSR環境経営を普及、持続可能な経営と地方創生の新規事業」
◇主　催：内閣府地方推進室・運営事務局
◇当会の時間帯：14:40～15:10／**Room5**
◇Room5参加者：第2号会員（地方自治体）、第3号会員（民間企業）、AMCJ各支部（4名）、トータル登録者：27名程

今回のマッチングイベントテーマと当会が既に登録している分科会テーマの内、継続＃19「中小企業・サプライチェーンにSDGs・CSR・環境経営の普及と宣言・登録・認証制度のパイロット運用」について、分科会の目的である企業、中でも中小企業、サプライチェーンに対してSDGs・CSR・環境経営を普及することにより持続可能な経営とSDGs169 のターゲットから地方創生を意識した新規事業を促すことであります。また、企業が本業の一環でSDGsに関する取り組みを「宣言・登録・認証制度」を利用し推進することで、「SDGs de 可視化」が実現可能となり、事業の成長と共に認知度向上ならびに地方創生SDGs達成に寄与するなど、より一層信頼される組織として期待される。

開催時間｜13:20～16:30
Zoomによるオンライン開催

AMCJ 担当

	ROOM1	ROOM2	ROOM3	ROOM4	ROOM5	ROOM6
14:40～15:10	山都町有機農業協議会	UPWARD株式会社	ソーシャルマッチ株式会社	株式会社文化資本創研	一般社団法人日本経営士会	一般社団法人PMI日本支部
	アイガモロボと持続可能な有機農業	災害調査業務をDXで改善して罹災証明書発行の短期化実現（SDGs優良事例選定）	SDGsに取り組む東南アジア社会的企業との新規事業創造	産学連携によるSDGs・脱炭素促進のための共同データ調査・分析	中小企業・サプライチェーンにおいてSDGs・CSR環境経営を普及、持続可能な経営と地方創生の新規事業	SDGsスタートアップ方法論のご提案～SDGs事業の立ち上げ・推進にお悩みの皆様へ～

【タイムスケジュール】

プログラム		内　容
14：35～	受付& Zoom参集	開催形式 Zoomウェビナ―による配信 受付開始 ※Zoom参集：14時35分から入室が可能
14：40～	開会	はじめに:　内閣府 運営事務局から 弊会プロフィール紹介
14：45～ 15：05		◊登録認証制度の概要（SDGsアプローチ方法、宣言・登録・認証制度の考え方、A,B,Sコース概要など） ◊2021年度の登録・活動の紹介 ◊持続可能な経営と地方創生の新規事業 ◊持続可能な経営と地方創生の新規事業について（地方創生SDGs事例）
15：05～ 15：10	質疑応答 閉会	※質疑応答含む

以上

SDGs事業部・委員会　本田 哲行

2021年度 第2回 経営支援アドバイザー養成講座開催

6月に続き、12月に2日間のオンラインセミナーを開催します。今回は、幅広に各種補助金・制度等を採り上げます。直近のルール改訂及び当局の動向等を踏まえた内容で解説・説明をいたします。皆様のご参加をお待ちしております。

実施時期　12月5日（日）10：00～17：00、18日（土）9：00～15：50
実施場所　オンライン（Zoom）で行う。事前申し出により、後日録画視聴も可。
募集人員　経営士正会員（新規受講者）20名〈最低催行人員10名（新規受講者ベース）〉
既経営支援アドバイザー有資格者（リカレント受講者）15名
今回に限り、過去に受講し乍ら、何らかの理由でアドバイザー不登録となられた方も上記リカレント受講者と同価格で受講し、確認テスト等所定手続きによりアドバイザー登録することが出来ます。
受 講 料　新規受講者：20,000円　　リカレント受講者：2,000円（今回限り）
受講条件　受講料が募集締め切りまでに納付されていること。

講座の目的

(1)本会の経営支援アドバイザーとして新規に登録される人材の育成を図る。
(2)既取得者で、新しい施策を紹介し、実務的に活動できるスキルを身につける。

プログラムと講師

	プログラム名	時間（分）	講師	サポート
1日目	1. 開講あいさつ	10:00～10:10	鈴木副会長	
	2. 認定経営革新等支援機関と経営支援アドバイザーの役割	10:10～10:50	高橋栄一	
	3. 事業継続力強化計画の作成	10:50～12:00	高橋栄一	
	4. 経営革新計画の作成	13:00～14:30	小池基美男	
	5. ものづくり補助金申請書の作成	14:40～17:00	小池基美男	大工原
2日目	6. 持続化補助金概要説明	9:00～10:30	小池基美男	高橋（直）
	7. 事業再構築補助金概要説明	10:40～12:00	横田英滋	
	8. IT 補助金・事業承継他	13:00～14:30	横田英滋	
	9. 確認テスト	14:40～15:10	横田英滋	江上
	10. アンケート作成	15:10～15:40	横田英滋	吉村　江上
	11. 閉講あいさつ	15:40～15:50	高橋栄一	

申し込み方法（申込締切11月30日）

本部へメールでお申込み

メール送付先：office@nihonkeieishikai.com　※メールソフトが起動します。
お申し込みの際に以下の内容を入力ください。
件名：2021年度第2回 経営支援アドバイザー養成講座申込
本文：(1)会員名　(2)会員番号　(3)所属支部　(4)区分（新規研修受講 or 既アドバイザー有資格者、再受講）※いずれか記入　(5)E-mail　(6)携帯電話番号
※FAXの申込用紙も用意しております。ご希望の方は事務局にご連絡ください。

受講料：新規受講者 20,000円 ／ リカレント（資格保持者、再受講）2,000円
（受講料は11月30日までに下記へお振込み願います）
みずほ銀行 麹町支店　普通 1614618　一般社団法人日本経営士会

＊いただきました情報は今後、経営支援事業部が開催しますセミナー・行事等のご案内に使用させていただくことがありますので、ご了承お願いします。

事業部・委員会活動

NJK女性経営士の会 委員会からのお知らせ

NJK女性経営士の会

令和3年度　NJK女性経営士の会　＼オンラインZOOM忘年会／
第54回経営士全国研究会議 最優秀賞受賞研究論文紹介＆お話会

コロナ禍で通常の忘年会の開催はできませんが、女性経営士をはじめ、皆さまとの交流や近況報告を兼ねてNJK女性経営士の会『オンラインZOOM忘年会』を開催致します。

NJK女性経営士会　四国支部　山本カオル委員の研究論文について直接お話をお伺いしながら、皆さまとの交流を図ります。どなたでもご参加いただけるZOOMオンライン忘年会となっております。

皆さまとのオンラインZOOMでの交流を楽しみにしております。

NJK女性経営士の会:「オンラインZOOM忘年会・研究論文紹介＆お話会」
講　師：株式会社かのん　代表取締役　山本 カオル(やまもと かおる)氏
　　銀座コーチングスクール四国校　代表
　　発達サポートセンタープレスタかがわ　代表
　　発達サポートセンタープレスタにこ　代表

（写真：山本 カオル氏）

開催日：令和3年12月10日（金）19：00 ～ 21：00
場　所：ZOOMで開催（ZOOM招待URLはメールにて別途ご連絡致します）
対　象：どなたでもご参加頂けます。
会　費：2,000円

内　容：「オンライン忘年会・研究論文紹介・お話会」
(1) 乾杯　自己紹介・山本カオル氏について
(2) 研究論文【コロナに打ち勝つ！地域密着・労働集約型事業の圧倒的な業績向上 ～ OODAループとPDCAサイクルの併用で絆を大切にした低コスト経営～】紹介
(3) ブレイクアウトルームでお話会
(4) 質疑応答
(5) ご当地プレゼント抽選会
(6) 延長戦があるかも！？

お申込み：以下のいずれかの方法でお申込み下さい。
　　NJK女性経営士の会 吉村へメール：yoshimurachizuko@gmail.com
　　本部へメール：office@nihonkeieishikai.com
　　本部へFAX：氏名・会社名・ご住所・電話番号・e-mailを記載の上お申し込み下さい。
　　本部FAX　03-3239-1831

※お申込み頂いた方に後日お振込み銀行口座のご連絡を致します。
※入金確認後ZOOM URLをお送り致します。

第55期経営士養成講座の募集について

第５５期経営士養成講座募集について、以下の通りご案内いたします。

1．経営士養成講座の日程について

■第５５期経営士養成講座カリキュラム(概要)

開講形式	日　程	時間帯	科目・講座内容
【対面】	1/８(土)	09:00～18:00	◇開講式、オリエンテーション、第４次産業革命に向かう日本と世界経済動向、経営士会の人材育成、コンサルタントとしての基本スキル、ほか
オンライン Zoom	1/15(土)	09:00～18:00	マーケティング、商品開発&販売戦略、ほか
オンライン Zoom	1/22(土)	09:00～18:00	実務研修事前、中小企業支援諸施策、ほか
【対面】	1/29(土)	09:00～18:00	実務研修①＜企業訪問＞ 実務研修②＜企業の実態把握＞
オンライン Zoom	２/５(土)	09:00～18:00	実務研修③＜課題抽出＞、持続可能な企業経営(CSR/CSV/環境経営・ESG投資とその事例)、ほか
オンライン Zoom	２/11(金・祝)	09:00～18:00	生産管理の基礎と経営士としてのスタンス生産管理の潮流、ほか
オンライン Zoom	２/12(土)	09:00～18:00	実務研修④、中小企業における IT 導入と情報セキュリティ、ほか
オンライン Zoom	2/19(土)	09:00～18:00	実務研修⑤、リスク管理と BCP、組織の活性化と人事制度、ほか
オンライン Zoom	2/26(土)	09:00～18:00	ビジネス倫理、企業経営者講話
【対面】	3/5(土)	09:00～18:00	実務研修⑦〈企業への報告〉、ＭＰＰ、ほか ◇閉講式

※詳細内容につきましては、日本経営士会 HP　https://nihonkeieishikai.com/　でご案内しております。ご確認下さい。
なお、都合により、カリキュラムおよび講師の変更をすることがあります。

2．研修場所

■会　　場：一般社団法人日本経営士会・本部会議室および実務研修先(東京都)
■住　　所：〒102-0084　東京都千代田区二番町 12-12　Ｂ.Ｄ.Ａ.二番町ビル５Ｆ

3．受講申込み

■申込方法：次頁の申込書にご記入の上、メールまたは FAX にてお申込み下さい。
なお、受講料の納入をもって受付完了とさせていただきます。
■募集人員：10 名（定員になり次第締め切らせていただきます）
■申込締切：2021 年 12 月 24 日（金）
■受 講 料：220,000 円（消費税含む）　※受講開始後の返金は致しません。
■振 込 先：みずほ銀行　麹町支店　普通　1614618　　一般社団法人　日本経営士会

4．お問合わせ

■申込み先：一般社団法人日本経営士会　本部事務局　窓口：田中洋子　宛
■連 絡 先：〒102-0084　東京都千代田区二番町 12-12　Ｂ.Ｄ.Ａ.二番町ビル５Ｆ
■電　　話：03-3239-0691／FAX：03-3239-1831
■Ｅ-mail：　office@nihonkeieishikai.com

5．その他

■新型コロナウイルス感染対策を徹底し、十分な予防対策を取っていただきますようお願いいしします。
■今後のコロナ感染状況により、行政・自治体などの要請に基づき、対面形式を一部変更する場合もございますので、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

第５５期　経営士養成講座申込書

申込日　2021 **年**　　**月**　　**日**

<table>
<tr><td rowspan="5">申込者</td><td rowspan="2">氏　名</td><td colspan="2">(ふりがな)</td><td colspan="2">生年月日（　　歳）</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">年　　月　　日</td></tr>
<tr><td>会員番号*1</td><td></td><td>所属支部*1</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>現住所</td><td colspan="4">〒</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話番号:</td><td colspan="3">FAX 番号:</td></tr>
<tr><td colspan="5">Email アドレス:</td></tr>
<tr><td rowspan="5">勤務先</td><td>勤務先名</td><td></td><td>役 職</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>勤務先
所在地</td><td colspan="4">〒</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話番号:</td><td colspan="3">FAX 番号:</td></tr>
<tr><td colspan="5">Email アドレス:</td></tr>
<tr><td colspan="2">最終学歴*2</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">社会での学習実績
*3</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">業歴と役職
*4</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">紹介者</td><td>紹介者*5</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>紹介者支部*5</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

*1　経営士会員の場合、ご記入下さい。
*2　大学卒業程度の学識と実務経験　5 年以上
*3 ご心配な方は、保有資格や社会に出てからの学習の経験を細かく書いてください。
*4 ご心配な方は、経営管理の経験実績、管理職やリーダー経験を細かく書いてください。
*5　紹介者がいる場合、ご記入下さい。

※ご提供頂きました個人情報は、本部および中日本ブロックからの研修会などの情報提供のみに使用させていただきます。

事業部・委員会活動

MPP委員会からのお知らせ

MPP委員会

1.「MPPのご案内」リーフレット

予てより懸案となっていましたMPP紹介用のリーフレットの改定が終了しました。

一般の方やMPP初参加の方にご理解いただけるようにわかり易い表現に心掛け、企業向けの販促ツールとなるように改定いたしました。

各支部に既に発送させていただいております。MPPの外部活用に、ご活用ください。

2. MPPケース集の改定版送付について

2020年度の新規登録ケース6つを追加したCD-RのMPPケース集を各支部に、年内に送付いたします。

まだまだMPPのリアル実施が難しい状況ですが、ご活用ください。

尚、ケース集の管理、取り扱いに十分なご配慮をお願いいたします。

3. MPP開催予定

北関東支部新潟県会　第31回公開MPP（リアル）

日　時　12月4日（土）13：30～16：30

会　場　クロスパルにいがた403

申込先　kuwayama@keieishien.org

中国支部　ZoomによるMPP

日　時　12月11日（土）09：00～12：00

申込先　fukuchan@ms8.megaegg.ne.jp

4. MPPリーダー更新研修について

コロナ禍の影響で、各支部での更新研修等の実施が難しい状況にあります。更新期間の延長等救済処理も行っていますが、期限もありますのでZoomを活用したMPPリーダー更新研修をMPP委員会で開催すべく準備を進めております。詳細が決まり次第、更新対象者にご連絡いたします。

以上

事業部・委員会活動

AMCJクロッシング活動報告とスケジュール

AMCJクロッシング

立冬を迎え、日毎に寒さも身にしみる季節になってきました。会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、10月に開催をしました「第4回　AMCJクロッシング」などを報告致します。約30名のご参加いただき、またアンケートのご回答も頂戴し有難う御座います。多様なご意見を踏まえながら、全国会員の皆様がお互いを知って頂ける場になるように、運営を行ってまいります。今後とも宜しくお願いします。

AMCJクロッシング委員長　戸田 裕之

◆『第4回 AMCJクロッシング』

10月10日（日）、14：00 ～、参加者30名

テーマ：「我が家の事業承継」 ～ 皆さん　どうコンサルしますか？～

ファシリテーター：堺剛 会員（東京）

《参加者からの感想など》

・事業承継（家族承継）の生きた情報が聞けて良かった。
・クロッシングは回を重ねるごとに交流が深まって、良い方向に進んでいると思います。
・限られた時間があるので、今回の内容は詰め込みすぎではないか。
・時間厳守でお願い致します。次の予定が入っていても、簡単に失礼いたしますとは、言いにくいものです。

◆今後のスケジュール

2021年12月12日（日）、14：00 ～ 16：00

『第5回 AMCJクロッシング』

テーマ：「解説！最新Webマーケティングとは（仮）」

講師：土橋るみこ 会員（東京）

2022年2月13日（日）、14：00 ～ 16：00

『第6回 AMCJクロッシング』、テーマ未定

AMCJクロッシングの開催日は、【偶数月　第2日曜日】を予定しております。

お申し込み先：keieishikai.crossing@gmail.com
メール件名：AMCJクロッシング　申し込み
メール宛先：AMCJクロッシング　戸田宛て
メール本文：①お名前、②会員番号、③支部名、④電話番号

北海道支部活動報告

北海道支部

北海道支部長　溝渕 新蔵

全国の皆様、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
本年末に至り、多くの行事が控えていまして、皆様公私ともに御多忙のことと存じ上げます。
北海道における事業、活動内容を報告いたします。

① 日本経営士会70周年記念に奉加し、経営士会の業績の偉大さを痛感しました。
　多くの資料を読み解き、向後80年、90年記念の新たな門出を祝いたいと思います。本部役員の資料まとめ作業に、深く感謝いたします。
　我々はその歴史と成果をよく反芻して、今後の活動に鋭意力を入れたいと思います。温故知新にプラスして、新たな活動を生み出したいです。

② 政府の地方国立大学の活性化に呼応して、小樽商科大学、北海道大学大学院修了生4名が、経営士の立場で協力すべく、人材育成の具体的な教育、起業化の呼び起こす役割として、参加することになりました。MBA、博士課程出身者による「企業育成講座」への協力・参加を始めます。

③ 新型コロナ第5波収縮傾向にあるが、将来危惧することはないか、幹事会や、来春の新年総会を開催するかどうかを、危惧するところであります。
　例えば、(1)札幌から箱館分会に訪問しての共同研究会、(2)研究案件のビジネスモデルの構築戦略、(3)MPPを深耕して深い理解を得ること。

④ 経営士会挙げての全国大会には、できるだけの参加をして、豊富な情報と全国的な高まりを認識するよう、会員に勧めて参りました。今回の新潟全研には、3名参加しますので、聊か安堵しています。

⑤ 新会員の募集について、会員一同働きかけていますが、計画通りには進まない。そこで、候補者を幹事会に出席願い、またマネジメントコンサル資料をプレゼントし、幹事らと会食してご理解を得るような接触を持っています。本年は3名以上の新加入を期待しています。

⑥ 新会員につきまして、幹事会、他の研究会にできるだけ参加を願い、会員とのコミュニケーションや活動内容について、議論などを寄せて頂くようにしています。皆様のご意見を頂ければ有難いです。有難うございます。

千葉支部活動報告

千葉支部

千葉支部は6～7月に開催した経営士補養成講座も一段落した中、幹事会・運営委員会、勉強会を開催しました。

開催日　：　8月28日（土）、9月25日（土）
会　場　：　Zoom会議

第1部　幹事会・運営委員会

議題　① 70周年記念事業について
　　② 第54期経営士養成講座
　　③ 勝浦市管理者向けセミナー　など

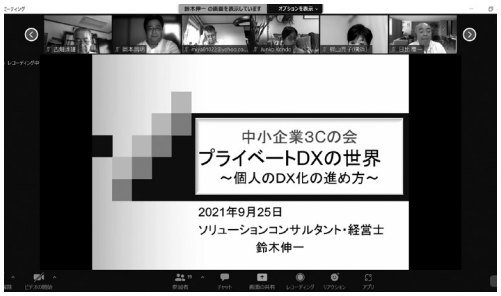
第2部　勉強会“3Cの会”

1）講　　師：森田　喜芳　会員（8月28日）
講演タイトル：『コロナ後の自動車の動向』
世界が求める環境変化に伴い自動車がどのように変化していくかを具体例を挙げながら説明頂いた。

2）講　　師：鈴木　伸一　会員（9月25日）
講演タイトル：『プライベートDXの世界　～ 個人のDXの進め方 ～』
プラベートDXとは『個人作業と頭脳のデジタル化』と定義し、社会のDXの進展に合わせ個人もDX化を進め、事務作業の高効率化を実現すべきとして、デバイス、ブラウザ、クラウドなどの活用方法を具体的に説明頂いた。

以上

森田　喜芳　講師



鈴木　伸一　講師

支部活動報告

山梨経営支援センターについて

南関東支部　山梨経営支援センター

センター長　一瀬 良之［No.4994］

山梨経営支援センター長として二年目を迎えます一瀬良之と申します。山梨経営支援センター（以下、当センター）の活動状況などのご紹介をさせていただきます。

当センターの今年度の活動方針は、以下の通りです。

1. 組織活動の強化と運営の取り組み（定例会、研究会、外部との連携）
2. 各自の経営コンサル能力の強化に向けた取り組み（他支部勉強会参加、ミニセミナー）
3. 収益性のある事業の確保に向けた取り組み（生産性向上の受託事業、ポリテクセンター受注他）
4. 当会／センターの認知度向上（活動を続ける中でのPRとメディア活用）

何もかもコロナのせいにしてはいけませんが、県内企業・団体に対する様々な自粛要請や制限が続く中で、思うような結果を残せないでおりますが、経済・社会・文化等に関する諸問題を調査研究し、地域経済の発展に貢献するという目的のため、地域企業・組織の経営支援と人材育成等を行ってまいりたいと思います。

当センターは現在会員数20名足らずの小さな所帯ですが、情報共有の円滑化と会員個人のスキルアップ支援のため、8名の運営委員による運営委員会（定例会の二週間前開催）で、イベントの企画やスケジュール・運営内容に関する話し合いを行っています。今年度、会員の資格取得のための講座やセミナーの受講料、全国研の参加費用など、当センターの予算を組み替えて補助する取り組みも行っております。

今年も新型コロナウィルスの感染防止のためリアルに集まることが難しく、会員が顔を合わせることができたのは定期総会（4月）の一回きりで、その他の定例会はすべてZoomによるTV会議によるものでした。不足しがちなコミュニケーションを補完するため、メーリングリスト（全員用と運営委員用）を使用して、情報の伝達、会員への呼びかけを行っています。

毎月開催予定の定例会は、今年度はこれまで2回、Zoom形式にて開催いたしました。定例会では諸連絡の他に、各会員持ち回りによるミニセミナーや個別の研究発表会を開催しています。ちなみにこれまでの開催テーマは、以下のようになっています。

5月　「働き方改革推進企業支援事業の事例」
6月　「中小企業のコンサル事例」
7月　「デジタルトランスフォーメーション（DX）の概要」
8月　「中小企業のマーケティング活用」
9月　「ブランド力向上による新たな顧客の獲得」
10月　「地元醸造会社の経営支援」

当センターでは二人以上のチームによる顧客支援を重視しています。ミニセミナーには、個人のスキルアップの場の提供や最新の情報に接するという目的の他に、各会員のスキルを共有化するという側面があります。

今年度も当センターの特色でもあります春季・秋季の公開MPPは開催できないでおります。また山梨女性経営士の会（YJK）もNJKと連携して、イベント開催などの活動を行ってまいります。

コロナ禍の下ですが、当センターは南関東支部のみならず、中日本ブロックや他の支部・センターとも連携して活動してまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

支部活動報告

中部支部8月～10月活動報告

中部支部

記：三品 富義

◆経営研究会

開催日時：2021年8月8日（日）15：00～16：30（Zoom）

テーマ：「トヨタ、ユニクロに学ぶ経営理念の立て方、活かし方」

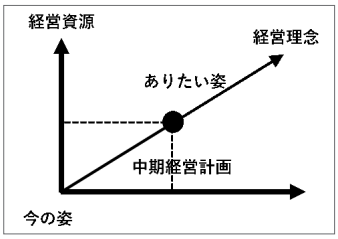
講　師：江口敬一

今回は、コンサルタントを行う上でしっかりと理解しておく必要のある「経営理念」の考え方について、ご自身の経験談を含めてわかりやすく解説していただきました。

経営理念は企業によって「経営理念」「基本理念」「企業理念」等、呼び名は異なるものの、企業にとっての理想や拠り所になる重要なものであり、中期経営計画を立案するためにも必要である。

・トヨタ自動車の理念：内外の法およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、国際社会から信頼される企業市民をめざす。他全7項目。内容としては、ステイクホルダーに対し全方位的な内容となっている。また、労使相互の信頼についても謳われていることが特徴。

・ファーストリテイリング（ユニクロ）：FAST RETAILING WAY「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」。このFAST RETAILING WAYの下にミッション、価値観、行動規範が謳われている。



経営理念については「原点」「拠りどころ」「永遠に追い求める理想の姿」「きれいごと。理念がないことが理念」等捉え方は様々ですが、経営者が自ら考えて定義することが重要であると話されました。

経営コンサルタントを行う上では、対象企業の「経営理念」を確認・理解し、中期経営計画を始めとする各種計画・施策に十分織り込んでいくよう働きかけることを忘れないようにしましょう。

◆経営研究会

開催日時：2021年8月22日（日）13：30～15：00（Zoom）

テーマ：「天空のT社に輝いた1つの星」

講　師：遠藤欣秀

遠藤様がT社で30年間、企画、開発、設計、試験、生産、営業、海外支援などの経験にて頭に焼き付いた、星たちの言葉とそれによって、出せた成果のお話です。コンサルタントとして製造工場の経営にお役立ちする内容です。（但し、機密保持部分は割愛しております。）

新入社員にて販売店に配属され、「1日100軒会話をしてこい」と言われ、目立つ黄色い自転車を自費購入し、お客様を訪問、昼食、休憩時も世間話、差し入れもした3か月、お客様に黄色い自転車を覚えてもらい、信頼されて5台販売。

研究開発部門では、開発品を提案した際、上司より「これは綺麗だ、いいぞ」と、知恵を評価され、「お前がやらねば誰がやる」、「社長報告用だ」と、誉め言葉でなく、重要な仕事を任された。

何でもやれる自信をつけてもらった。また、ある部長には、立場や肩書を感じさせず、やるべき事を愚直にやる姿勢に憧れられた。更に、開発で倒れそうな毎日の際は、課長の奥様の手配で、我が子の出産祝いを頂き感激された。部下を理解し、周囲を動かす上司、これらを体験させて頂きました。

そして、離れた星を胸に想い、社内にて一人立ちし、「痛み無くして、得るものなし」と、既存を変える事の難しさの教訓に励まされ。数々の特許を取得され。また、「聞かれた質問には、YesかNoで答えよ」の教訓で多くの海外スタッフの友達ができ、社長の「責任者は私だけ・・・・・変わる時だ」と社長直轄のプロジェクトに参加した際は、社長の情熱により社員を動かす教訓は、すごいと思いました。

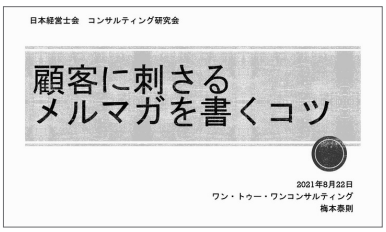
退社後、津波シェルター展開で、最も大きな星が「誰もやっていない物は将来がある」と応援してくれている。

「輝く星は、神様の贈り物。私は導かれ、今に至る。」

「烘雲托月」（こううんたくげつ）。我、雲となり、月を輝かして生きたい。と

愛する家族を想う、ご自身の為に現在、ご活動中です。

◆コンサルティング研究会
開催日時：2021年8月22日（日）15：00～16：30（Zoom）
テーマ：「顧客に刺さるメルマガを書くコツ」
講　師：梅本泰則



梅本氏が2007年から14年間、毎週1回発行しているメルマガについて、メルマガを書く目的、構成と投稿までの流れ、分かりやすいメルマガを書くコツ、メルマガを続けるコツについてお話いただきました。

梅本氏はメルマガ発行に際して最初に決めたことは、①読者を誰にするか②役に立つ内容にすること③記事の構成（テンプレート）④毎週水曜日6：00発行する、ということでした。現在755号まで続いています。

続いて、実際に755号のメルマガをもとに詳しく解説いただきました。例えば、分かりやすいメルマガを書くコツは①一文を40字までにする②「です・ます」を交互に使う③接続詞を多く使う④読者に問いかける⑤例示をする⑥改行を多くする⑦文章の長さにリズムをもたせる⑧難しい漢字（小学3年生で読める）や専門用語を使わない、ということです。そして、メルマガを続けるコツは、まずは自分の仕事だと思うことで、原稿作成日をカレンダーに入れる、話しかける相手を一人に決める、といったことも大切です。時には私の失敗談などの息抜き記事を書くことにしています。

（MPP参加者）

◆MPP研究会
開催日時：2021年9月12日（日）13：30～16：30（Zoom）
MPPテーマ：「事業承継をどのように進めるか」
MPPリーダー：三品富義　レコーダー：江尻靖進

本年3回目のMPPは、事業継承についてケースメソッドにより検討し、自己紹介（近況報告含む）、輪読、黙読、討議、まとめの順に進めた。

討議は、今回ケースの会社の概要を全員でパワポにまとめながら共有、そして問題点の抽出、課題を挙げ、設問（S社長の事業継承にどのようなアドバイスをしますか。）の対応を検討し、最後に全体のまとめを実施。また、パワポ記載分はZOOMチャットにその場で貼り付け、全員が取得。更に、MPP報告書は、翌日までにMPPリーダーに提出とし、MPPリーダー報告書と共に日本経営士会本部に郵送致しました。

今回のS社長（85歳）親族承継が出来ない、部下に承継も不安があり、株式があればその対応など承継に対する知識も必要で難問であったが、我々も直面するケースも今後あると思い、大変勉強になりました。

◆コンサルティング研究会
開催日時：2021年9月26日（日）15：00～16：30（Zoom）
テーマ：「コンサルネタ古典五作『孫子』から『夜間飛行』まで」
講　師：江口敬一

「愚者は経験から学び、賢者は歴史から学ぶ」鉄血宰相ビスマルクの名言である。今回は、「古典から経営の本質を知る」を課題に、「孫子」「韓非子」「君主論」「戦争論」「夜間飛行」を取り上げ、以下のアプローチを試みた。

1）時代背景、執筆の動機、著作の全体像を把握する。2）そのうえで故事一つ一つから主題を読み解く。3）経営に活かせる普遍的な原理原則を見出す。

「韓非子」や「君主論」は、権謀術の指南本と見なされがちだが、1）、2）のアプローチを経れば、時代に対応するトップの強力な統率力のもと法制や政体の変革を説き、現代の経営にも求められる「イノベーション」と「マネジメント」という普遍的な経営の本質を含有した書である。「孫子」「戦争論」「夜間飛行」も然りである。中世以降、分裂したドイツを統一に導いたビスマルクの言は、彼が「君主論」の著者マキアベッリ研究の第一人者であり実践者の自負があった故であろう。故事の背景にある古典の全体像を知り、核心の主題を読み解くことは、個別の事象にとらわれず全体像を推察し、問題の核心を見出し、課題解決を図るコンサルティングの本質に通じるものある。番外としてレイチェル・カーソンの「沈黙の春」を取り上げたが、この書とSDGsをつなぐ本質が何であるかを読み解くことも、環境経営のコンサルティングに必要な視点と思われる。古典は、経営コンサルネタの宝庫でもある。

◆ICT研究会

開催日時：2021年10月4日（日）18：00～19：30
開催場所：ZOOMオンライン　参加者7名
テーマ：驚きのLINEビジネスモデル
「最新、今どきのLINE集客術」
講　師：MEGA PR代表　禰津和弘（外部講師）

（ICT研究会参加者）

現在世の中において、SNSの活用法が目覚ましく取り上げられていますが、今回、実践にてLINEを活用したビジネスコンサルタントをしています禰津様を支部のICT研究会としてお招き、講演いただきました。

Instagram、FB、Twitter、LINEのSNSで一番使われているのがLINE（約8600万人）ですが、これはスマートフォンの普及によるもので最近は携帯電話端末の買替需要やコロナの影響もあり、年配者の活用も増えてきています。そこでこの需要を活かしLINE公式アカウントを取得、（もちろん無料）LINE広告に自店をPR掲載し、LINE友達になっていただき、そこへ自店のメルマガを配信し（1000通/1か月は無料）来店していただこうというものです。これが集客効果に大変貢献するということです。LINE公式アカウント取得により、そのアナリティクス（どんな人がどれ位閲覧してくれたかなどのデータ分析）が判明し、自店のPR写真やキャッチコピーの判断にも活用できるとのことです。更に最近の広告は、AIによりそれなりの客層に90％位の確立で配信されるようで、非常に実績に結び付いていくそうです。講師の禰津様の会社は、これらの導入から、設定、サポートを主にBtoC対象で行っているとのことです。

◆経営研究会

開催日時：2021年10月9日（土）10：00～16：00
開催場所：名古屋市芸術創造センター
テーマ：「経営計画書作成」ワークショップ
講　師：中部支部長　梅本泰則

（経営研究会参加模様）

久々のリアル研究会、経営コンサルタントとしてクライアントに「経営計画書」作成の指導ができるよう、短い時間でしたが実施しました。午前の2時間はその「経営計画書」の作り方の講義、午後の3時間は例題（酒醸A社）の会社をとりあげ、各個人毎にその「経営計画書」作成し発表形式で実施しました。

「経営計画書」は何のため必要か、それは事業の方向を決める、それを行うことを明確にするもので事業を成功に導くものであり、事業に欠かせないことです。まず、どんな会社になりたいか、顧客にとって、自分にとって、従業員にとって、業界にとって、地域にとってなど、シートに書き出すことから始めます。その上で理念（ぶれない考え）を決めます。そして目標を決め、PEST分析（市場・経済・社会・技術）により外部分析、自社の強みなどの内部分析、ドメイン（誰に・何を・どうやって）、マーケテイングミックス4P（商品・価格・流通・プロモーション）、更にその計数計画を立てアクションプランに結び付けていきました。更に今回は女性客を対象にしたゴルフオンラインショップの経営計画書作成による成功事例を紹介いただきました。

その後、各参加者にて酒造A社の経営計画書を、頭を絞り出し悩むこと2時間で作成し、各自それぞれそれの経営計画書を発表し、参加者でフィードバックを実施しました。体裁の良い計画書作成もありましたが、本当に有効価値ある計画書作りが必要との意見がありました。一般的に経営計画書作成は半年位かかるもので、それを2時間で集中して作成しましたので記入出来ない部分もありましたが、経営計画書作成を真剣に考えたことに意義がありました。今後更にステップアップし、クライアントに反映していく良い機会となりました。

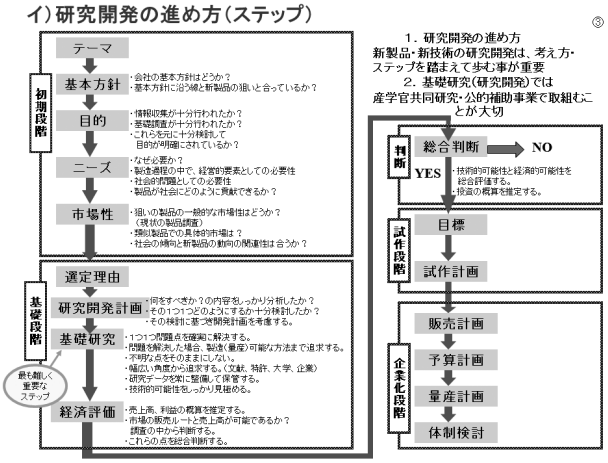
支部活動報告

四国支部10.19例会報告コロナ禍

四国支部

支部活動として、四国支部例会を令和3年10月19日開催しました。

今回は、四国支部(株)クリエイト　森本正文氏より「研究開について」活用の具体例をお話ししていただきました。



コロナ禍、労働人口の減少、環境問題、グローバル化等の社会情勢の中で、企業は大きな変革期の上にさらされているが、新しい事業、新製品、新技術が求められる今こそ「変革期チャンス」ととらえている。そこに研究開発の重要性があると話していただいた。

研究開発・技術力の重要性と必要性について次のようにまとめてみた　①社会に変化、時代の流れを読み先見的考慮が大切・研究、製品開発は内容により3年、5年10年など時間を要する　②この開発期間以上の技術革新(技術進歩)を考える必要がある　③技術は開発期間以上の技術革新(技術進歩)を考える必要がある。(完成時は、時代遅れ、他社に越されている)

このようにものづくりの鍵は、新商品、・術の研究開発において、産官学の共同研究で補助金を活用しスピードアップをはかること。研究開発には壁のまた壁の連続で難しく容易ではないことから、企業の中長期経営戦略を検討しPDCAを回し、時代の変化に対応していくことが重要であると。森本氏は、このような研究開発の支援、方針管理、工場運営、TQM(総合品質管理)をサポートを行っている。ご自身も以前に設計構想した「健康スマートハウス」をベースに、人生100年時代への提案空き家を有効活用し、健康維持・予防を踏まえてのプランニングに取り掛かっている。

（リモート例会の模様）

インフォメーション

近畿支部事務所移転のお知らせ

近畿支部事務所の住所が下記に移転いたしましたのでお知らせいたします。

近畿支部新事務所

〒556-0016　大阪市浪速区元町2-8-1　ラポール難波 8F

総和ビジネスサポート内

訃　　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
会務に多大のご尽力をされました。

＊石川 英一（NO.4142　東北支部）
令和3年10月27日没（享年87歳）

＊緒方 史郎（NO.767　九州支部）
令和3年10月3日没（享年87歳）

尚、前号でお知らせしました　故　近藤雅秀様のご命日に誤記がございました。正しくは　令和3年8月24日です。ここに訂正並びにお詫び申し上げます。

名刺広告大募集

名刺広告を掲載しませんか！次号 1、2 月号では新年の名刺広告を大募集しています。
価格は下記のとおりです。

種　類	価　格（会員）	価　格（一般）
カラー１面	40,000	80,000
モノクロ１面	25,000	50,000
モノクロ半ページ	10,000	30,000
モノクロ名刺サイズ	5,000	10,000

お知らせ

今回、2022年経営士手帳を同封いたしましたので、ご活用願います。
尚、経営士会倫理規程を添付しましたので、この機会にもう一読ください。

Management Consultant

経営に知恵と革新 Intelligence and Innovation in Management